

人材育成事業“たなべ未来創造塾”を支援

- 『地域の課題解決』と『地域資源の活用』をビジネスの手法で解決する人材の育成、ビジネスモデルの創出を目指し、和歌山県田辺市と富山大学地域連携推進機構が主催で創設
- 日本政策金融公庫、地元金融機関、商工団体、和歌山財務事務所など、産学官金が一体となり運営を支援

概要

たなべ未来創造塾<第二期>

◎ H29.8～H30.2 の約7カ月間にわたる取組

専門家や実践者などによる講義を開催するとともに、塾生同士のディスカッションを通じて、深く掘り下げることで、塾生自らが具体的なビジネスプランを検討

- ステップ1 基礎知識の習得
- ステップ2 ケーススタディ
- ステップ3 ビジネスプランの構築(演習)
- ステップ4 成果発表(修了式)



◎ 主な講義等

- ・「先例事例から学ぶビジネスチャンス」
田辺市熊野ツーリズムビューロー 多田会長
美吉屋旅館 吉本氏 (当塾第一期生)
- ・「最近の金融機関を取り巻く環境と金融行政の取組」
近畿財務局 和歌山財務事務所長



経緯

和歌山県田辺市は、世界遺産「熊野古道」をはじめとする多くの地域資源に恵まれる一方、少子高齢化に伴い、空き家や空き店舗が増加するとともに、地域の担い手不足といった課題を抱えている。



こうした地域資源の活用と地域課題の解決に向け、企業の営利活動との共通項を探し出し、本業を生かしてできるビジネスモデルの創出、ビジネスリーダーの育成を目指した「たなべ未来創造塾」を創設。

取組の成果

◎ 修了後の塾生の声

- ・自分の仕事をどのように地域に役立てていけるかということを考える良いきっかけとなった
- ・当塾に参加したことで、色々な人と知り合えたことは財産
- ・塾の後押しがあったからこそ、地域に寄り添うお店(パン屋さん)をオープンさせることができた

